

政策コミュニケーション・プラットフォーム(Ver.1.1)の構築と実装

開発者：島 広樹

概要

本ソフトウェアは、政策に関する多様なコミュニケーションを支援するITを応用した包括的な社会基盤として、「政策コミュニケーション・プラットフォーム(Ver.1.1)」の構築し実装したものである。本プラットフォーム上では、政策形成のために多くの人の知恵を引き出し、どのような政策を求めるかについて市民の一人ひとりが考えていくことを実現するための具体的なツールを提供している。

背景

社会や産業が健全に発展するかどうかは、その国の制度のあり方に大きく依存する。現在わが国の社会や産業全体が停滞している原因は、優れた制度を構築するためのメカニズムが失われてしまったことにあると考えられる。特に、①政策形成に関する機能の中央への集中、② 政治や政策に関する市民の関心と関与が十分でないこと、③ 現在の選挙制度では民主主義がうまく機能してないことが非常に深刻であると考えられる。

目標

本ソフトウェアが目標とするのは、政策議論に関する様々な要素を、システムティックに取り扱うことにより、政治システムや政策プロセスを再構築することである。市民、政治家、専門家、NPO/NGO、企業等に対して、各アクターの役割、能力、インセンティブ等に適したツールを提供することにより、断片化された政策プロセスを統合し、包括的な政策コミュニケーションを可能とするプラットフォームを実現し、民主主義が健全に機能するしくみを創造する。

システム構成要素1 政策CP基本システム

<市民向け機能>

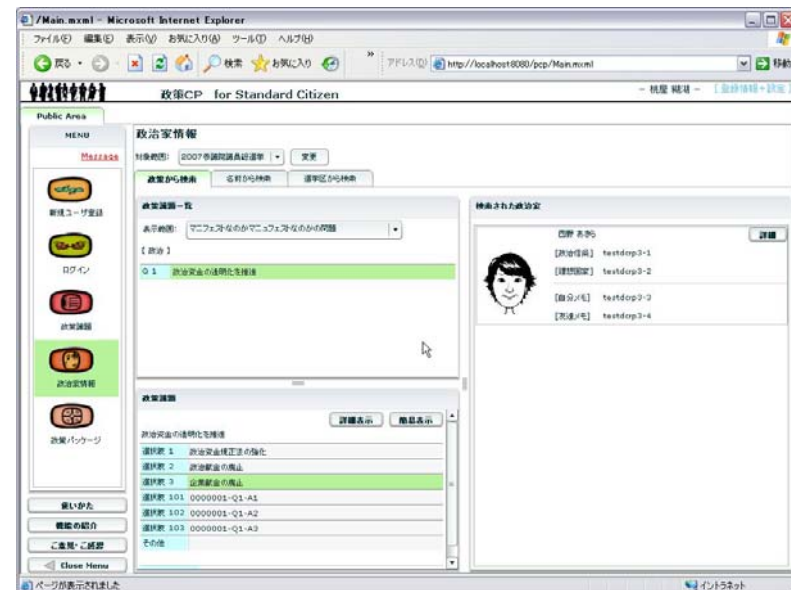
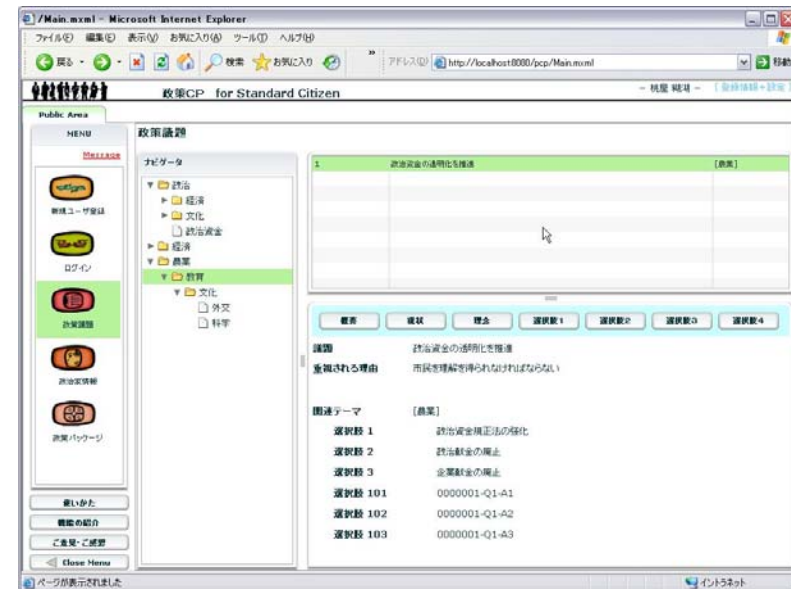
- ① 政策テーマから、「政策議題」を検索する。
- ② 政策議題から政治家を検索する。
- ③ 名前や選挙区から政治家を検索し、政策的立場をしる。
- ④ 「政策パッケージ」を用いて政治家を探す。
- ⑤ 自分の支持する政策の一覧から政治家を探す。

<政治家向け機能>

- 自らの政策的立場を表明する。

<エディター向け機能>

- 「政策パッケージ」を作成、編集する。



システム構成要素2

複数利用者によるコラボレーション・システム

<一般参加者プロセス>

- ① 政策議論一覧から政策議題を検索し、内容を確認する。
- ② 政策議題の全体像を把握する。
- ③ 政策議論に対して自ら発言する。
- ④ 既存の発言に対して、更新のオファーを行う。
- ⑤ 自分の発言に対するオファーに対応する。

<ファシリテータープロセス>

- ① 議題を設定し、新しい政策議論を発足させる。
- ② 必要に応じて、議論を調整する。

<システム上のプロセス>

- 各発言の支持指数を計算する。